

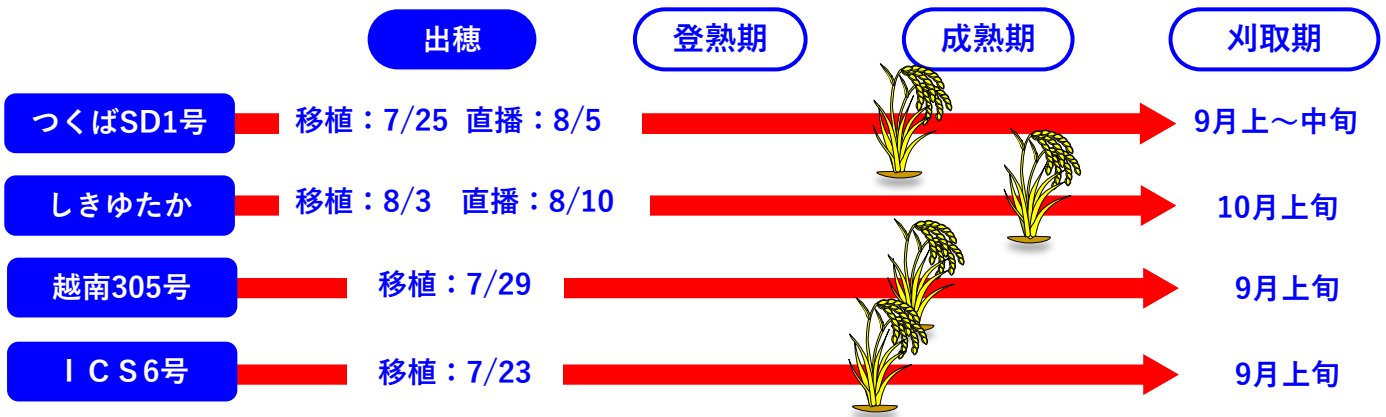
きょう りゅう
強粒 エクスプレス
 KYO-RYU EXPRESS

多収米の産地化で持続性の高い農業を目指して!!



8月に入ってから、天気不安定が続いています。ハナエチゼンの刈取時期を迎えていますが、なかなか刈取が進まない状況が続いています。週末から来週にかけても天気不良日が多い予報ですが、仕上げ管理を心掛け適期の刈取・適切な乾燥調整を行い、収量と品質向上に努めましょう。

1. 生育の目安と栽培管理



2. 多収米各品種の刈取判定

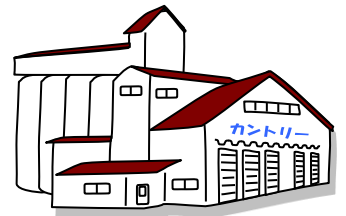
今年度の多収米の生育は、昨年に比べ草丈がやや長い、茎数はやや多い状況です。積算温度による刈取り予測は9月初旬ごろ、圃場の状況に応じた刈取りと丁寧な乾燥調整を行いましょう。

①積算温度から...

出穂日から積算温度による刈取り開始日を予測しましょう。

品種	積算温度
つくばSD1号	1,000℃
しきゆたか	1,400℃
越南305号	1,060℃
ICS6号	1,150℃

②登熟歩合(穂軸調査)から...



□ 今後の天候(気温)により、刈取日は前後します。カントリー利用可能品種については、稼働日程が決まりしだいご案内を致します。

3. 強粒づくりへの総仕上げ



①水管理 : 登熟期から刈取り期
 【乳白米防止と干粒重アップ】

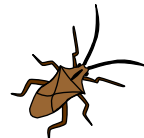


多雨により圃場が柔らかい場合は、速やかな落水に努め土壌を固めましょう。今後は、田面が乾く前に入水し、自然落水を繰り返す。一般品種より穂が大きく長い登熟期間が必要なため、長期間に亘って間断通水を継続し良好な登熟を促しましょう。



②カメムシ仕上げ防除
 【斑点米防止】

ダントツH粉剤DL 3~4kg/10a または
 スタークル粉剤DL 3kg/10a 収穫7日前まで



事故防止の為、作業は焦らず・慌てず、安全作業で行いましょう!